

2026 年 1 月 6 日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
株式会社 RUTILEA
株式会社 タイズ AI

■GPU サーバーを実装

データセンターショールーム「Module DPDC Fukushima」着工

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：大友 浩嗣、以下「大和ハウス工業」）と株式会社 RUTILEA（ルティリア）（本社：京都市、代表取締役社長：矢野 貴文、以下「RUTILEA」）、株式会社 タイズ AI（本社：福島県双葉郡、代表取締役社長：吉田 学、以下「タイズ AI」）は、福島県双葉郡大熊町において、GPU サーバー（画像処理装置）を実装するデータセンター（DC）のショールーム「Module DPDC Fukushima（モジュール・ディーププロジェクト・データセンター・フクシマ）」を 2026 年 1 月 7 日に着工します。



【「Module DPDC Fukushima」イメージパース】

福島県双葉郡大熊町は、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故からの復興に向け、2024 年 1 月に「第三次復興計画」を策定。魅力的な産業づくりと研究開発の展開や、未来へつなぐ持続可能な地域づくりなどの施策を推進しています。そのような中、大熊町に新たな産業基盤を築くために、3 社は協業し DC ショールーム「Module DPDC Fukushima」を建設することとなりました。

「Module DPDC Fukushima」は、敷地面積約 1,500 ㎡、延床面積約 200 ㎡、平屋建ての、大和ハウス工業が開発したモジュール型 DC 商品「Module DPDC」※1 第一弾で、GPU サーバーを実装するショールームとして、国内外の企業・研究機関などに 2026 年 5 月上旬より公開する予定です。

本施設は、RUTILEA の DC 事業に関するノウハウを活かし、主に同社の研究開発活動および技術検証を高度化するための計算基盤として運用します。また、RUTILEA の利用がメインですが、パートナー企業との連携もできるよう柔軟な運用が可能な設計としています。

今後 3 社は連携し、当施設を AI・デジタル産業の新拠点として、大熊町から全国へ広がるデジタルエコシステム※2 の構築を目指します。

※1. 「Module DPDC」について：<https://www.daiwahouse.co.jp/about/release/house/20251205180852.html>

※2. 複数の企業・組織がデジタル技術を活用して相互に協力・連携する仕組みのこと。

◆協業の背景

大和ハウス工業と CVC ファンド運営子会社である大和ハウスベンチャーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 哲雄）は、大和ハウス工業の創業 100 周年となる 2055 年の“将来の夢”（パーパス）実現に向けて、2024 年 1 月に「大和ハウスグループ“将来の夢”ファンド」を設立しました。大和ハウスベンチャーズは、新しい事業群の創出を目的に、大和ハウスグループの既存事業強化や、社会にインパクトのある明日の社会に不可欠の（アスフカケツノ※3）事業への出資や協業などを推進し、これまでにスタートアップ 25 社※4へ出資。2024 年 7 月には、AI を活用した建設業の生産性向上及び AI インフラ構築における協業を目指し、RUTILEA への出資※5を実施しました。

RUTILEA は 2018 年の創業以来、「AI を簡単に。」をミッションに、AI の社会実装を通じた労働生産性の向上に取り組んできました。現在は、官公庁・大企業向けの AI サービス事業、最先端の GPU を備えた AI インフラ事業、ならびに DC 電力の最適化に関する知見を活かしたエネルギー関連事業の 3 事業を展開しています。AI インフラ事業においては、2024 年に福島県大熊町に DC2 棟を整備し、AI の研究開発および技術検証を支える計算基盤の拡充を進めています。

そのような中、大和ハウスグループと RUTILEA が、AI インフラ（DC）の開発に加え、AI の共同研究を通じて建築設計や施工現場の生産性向上などを目指し、協議を進める中で、大熊町の復興に向け取り組みを推進するタイズ AI と協業し、DC ショールーム「Module DPDC Fukushima」を建設することとなりました。

※3. 安全・安心、スピード・ストック、福祉、環境、健康、通信、農業の分野のこと。

※4. 2025 年 12 月 31 日時点。

※5. 大和ハウスベンチャーズが RUTILEA に出資したことについて：[release_20240902.pdf](https://www.release.20240902.pdf)

◆建物概要

名称	：「Module DPDC Fukushima」
住所	：福島県双葉郡大熊町大字熊字新町
敷地面積	：約 1,500 m ² （約 454 坪）
延床面積	：約 200 m ² （約 60 坪）
構造・規模	：鉄骨造・平屋建て
着工日	：2026 年 1 月 7 日
竣工日（予定）	：2026 年 4 月 30 日
オープン（予定）	：2026 年 5 月上旬
事業主	：株式会社タイズ AI
設計・施工	：大和ハウス工業株式会社
入居テナント	：株式会社 RUTILEA
お客さま	：大和ハウス工業株式会社
お問い合わせ先	ビジネス・ソリューション本部 データセンター事業本部準備室 03-5214-2029



【2025 年 12 月 23 日に開催した地鎮祭の様子】
（大和ハウス工業 上席執行役員 野辺 克則）

<会社概要>

■大和ハウス工業株式会社

会社名	大和ハウス工業株式会社
本社所在地	大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 5 号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大友 浩嗣
創業	1955 年 4 月
主な事業内容	建築事業・都市開発事業・海外事業ほか
ホームページ	https://www.daiwahouse.co.jp/

■株式会社 RUTILEA

会社名	株式会社 RUTILEA
本社所在地	京都市中京区下丸屋町 397 番地 Y.J.K ビル 6 階
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 矢野 貴文
創業	2018 年 8 月
主な事業内容	AI サービス事業及び AI インフラ事業
ホームページ	https://rutilea.com/

■株式会社タイズ AI

会社名	株式会社タイズ AI
本社所在地	福島県双葉郡大熊町大字下野上字清水 252-1
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉田 学
創業	2025 年 11 月
主な事業内容	データセンター運営

以 上

お問い合わせ先			
大和ハウス工業株式会社	広報企画部	東京広報グループ	03-5214-2112
株式会社 RUTILEA	事業推進部		https://www.rutilea.com/contact
株式会社タイズ AI	総務部		0246-84-7981